



## ◆現在の生育状況について

桜開花予報によると、開花始は4月4日頃で平年より7日早い生育となっている。

1月2月は平年より高めの気温となり、3月も同様に高めが予想される。果樹においても同様の生育と考えられる。今後の気温と土壌水分の状況によっても左右されるが、今後の生育状況をよく確認し、春作業を実施する。

气象台	平年	R3	R2	R元	H30	H29	H28
桜開花始	4月11日	4/9	3/29	4/18	4/10	4/10	4/11

薬剤防除の準備も早めに取り掛かる。

## ◆春の管理について

①核果類は、せん定後の寒気の流入により切り口から枯れ込みが発生しやすくなる。

幼木や若木は発芽前頃にせん定する。

②ブドウは水上げ前にせん定を終了させる。

③核果類では、主幹部へのわら巻きによる保護を引き続き行う。

特に若木（結実開始前後の樹齢）は被害にあいやすい。

④りんご新ワイ化栽培では、主幹部への白塗剤塗布・わら巻きを引き続き行う。特に定植後5年間位まで。

⑤防霜ファンの稼働点検を3月中に行う。直前の故障は修理が間に合わない場合があります。

合わせて他の農機具も作動するか確認する。

## ◆野焼き(剪定枝の焼却)に注意する。

春になり、風の強い日や・乾燥状態の日が多くなる。剪定枝の焼却が原因での、野火の発生が心配されるため、火の取扱いに注意する。

①風の強い日は、火を焚かない。風がある日は原則禁止！風が強くなったらすぐに消火する。

②消火できるだけの水やスコップを用意する。

③少しずつ燃やす。複数人で行い現場から離れない。離れる場合は火を消してから。

④火災とまぎらわしい野焼きをする時は、事前に消防署に連絡をする。

⑤焼却煙が周辺住民の生活環境に影響しないように風向き等配慮する。

⑥周囲に燃え移るものが無いようにする。土手や山手の枯れ草など注意。燃えにくい服装で実施。

## ◆枝の飛び出しの確認について

公道や他人の住宅・圃場に枝が飛び出ていると、トラブルの原因になるので注意する。

①公道に枝が出ていると、車両等の交通を妨げとなる。また、他人の住宅・圃場に枝がでていると、公道上と同様に、予期せぬトラブルの要因となるので注意する。

②整枝剪定の際に処理する。安全で効率的に作業を行う上でも見直しを兼ねて園の周りを確認する。

また、苗木の植え付けは、将来の樹冠(枝が伸びる場所)を想定して植え付ける。

## ◆薬剤散布は注意して実施する

近年、薬剤散布による苦情が寄せられます。薬剤散布には充分注意する。

①時間帯や風向きに注意し、隣接する家・駐車場の車・洗濯物、河川、畜舎に飛散させないように注意にする。

②通学路の付近で通学中の時間帯や交通量の多い道路に面した園地は、特に注意する。

③防除をする場合は無風の日を選び、野菜・アスパラガス等の他作物・他品目に薬液が掛からないように十分注意する。特に収穫期の作物が近くにある場合は、散布前に隣接園の園主へ声をかけてから行う。

④残った薬液や器具洗浄の際は、河川・用排水路等に流れ込まないように注意する。

⑤散布者もマスク・カップ等装備をし、健康に注意する。

## ◆農薬による河川水の汚染防止について

石灰硫黄合剤などの農薬による防除が始まる季節となった。農薬の調合液を作る時はラベルに書いてある希釈倍率と使用量を守るとともに、調整液が残らないように必要量だけ調整する。やむを得ず残ってしまった調整液や散布器具を洗浄した液は、散布ムラの調整等に利用し河川には絶対に流さない。

## ◆石灰硫黄合剤の注意点について

日本では、果樹などの殺虫・殺菌のため、春先に石灰硫黄合剤が使用される。

この農薬は、アルカリであるため、皮膚に深く侵したり、眼に障害をもたらすことがあり、重症になると、長期の入院と手術が必要な場合がある。

重症となる事例は「防水着を忘れたのに、そのまま散布した」「体が薬液に濡れたのに、そのまま散布を続けた」ということが原因である場合が多い。

石灰硫黄合剤は、濡れた時には痛みがない。それでいて、30分後に洗っても手遅れになる。すぐに水で洗う。下記に安全な防除のポイントを示す。

- ・シャツ・ズボンなどが薬液で濡れたら、すぐに脱いで体を水で洗う。
- ・果樹園に着いたら防水着がない。「取りに帰るのは面倒だから、散布しちやえ」は、危険。
- ・防護具をしっかりと着用。(防水頭巾・防除衣上下・ゴーグル・マスク・手袋・長靴等)
- ・風上から散布。 散布が終われば、手洗い・洗顔・うがいを行う。
- ・家に着いたら、シャワー・風呂を使い、新しいものに着替える。
- ・石灰硫黄合剤は保管中に固まって(凍って)しまっている場合があるので、ぬるま湯に容器ごと入れ(段ボールは除く)溶かすと再利用できる。溶かせば品質には影響しないので、散布前に確認してから使用する。

## ◆苗木の植付けについて

秋に植え付けを行わなかった場合は、厳寒期を過ぎた頃(3月上旬からを目安にする)から植付けを行う。

**植え付け前の苗木には水をたっぷり吸わせる(1~2日間)**とその後の成長が良い。

植穴はなるべく大きく用意し(直径50cm以上深さ30cmは欲しい)灌水を行う。

なるべく根は断根しないように広げる。折れた太い根はキレイに切り直すと、治りやすく根も出やすい。

風で倒れないように支柱などで補助する。ヒモで結束する場合は「ひねり」を加えて縛る。

図のような縛り方は苗が痛む。

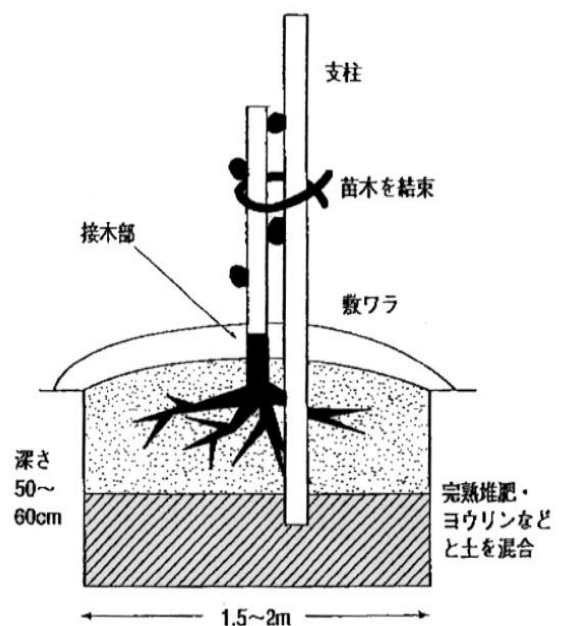
掘り上げた土が凍みしていない事を確認してから行うが、乾燥防止の為、灌水をしっかり行い根と土を馴染ませる。

敷きワラなどを行い保水・除草対策も合わせて行う。

植え代えを何度も行っている園地では、いや地等が発生し、苗木や幼木の生育が良くない場合もある。

その場合バックホー等で天地返しを行い、堆肥等を十分に投入するとある程度改善される。

なお、『植え付け資料』が各流通センター・共選所・JAファーム・資材センター・経済課に備え付けてある。

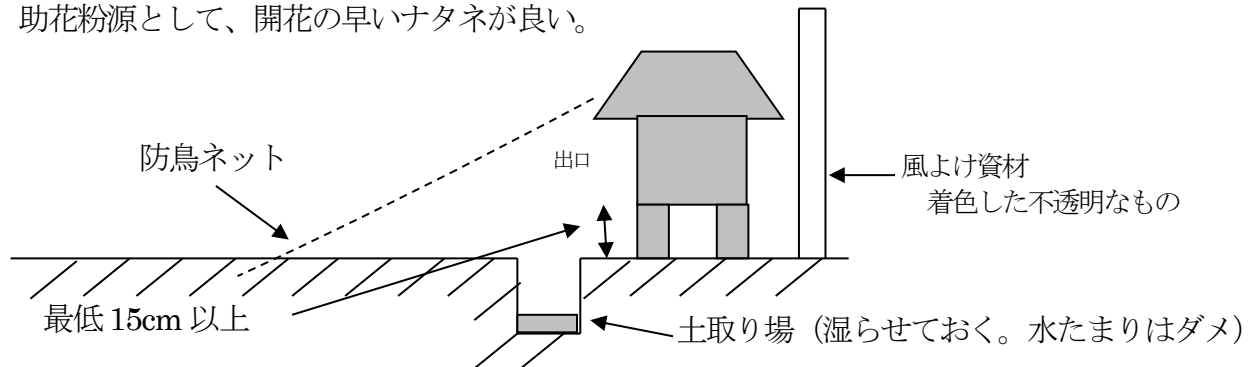


## ◆凍霜害対策用の燃焼用の缶が不足しています

通常缶が余っていましたが各流通センターまで持ち込んでいただくか果樹技術員まで連絡ください。

## ◆マメコバチの管理について

- ①暖かくなると活動を始めます。温度の上がりやすいところでは、早く出すぎてしまうことがあるので注意  
冷蔵庫で保管するなどして調節 流通センターの冷蔵庫の使用については各自でご相談ください  
(冷蔵庫が使用できるか 保管料 期間など)
- ②80aに1群(行動範囲50~60m)設置
- ③巣から出てきたときに花粉源がないと定着しない。(リンゴの開花より約10日早く活動開始)  
助花粉源として、開花の早いナタネが良い。



- ④巣となるヨシを更新し、カツオブシムシ、コナダニ等の天敵にやられないように！  
ヨシの中に天敵が住み着く前に(できれば2年で)更新が良いのでハチが出た後に焼却する。  
ヨシはキレイにカットされているものの方が入りやすい。
  - ⑤地上で(巣の前)交尾している最中に鳥に捕食されやすい。巣の前には防鳥ネットを設置する。
  - ⑥湿った土の取り場として深めの穴を掘り、営巣活動がしやすいようにする。水は溜めない。
  - ⑦風よけ(特に北風)を設置し、ハチが飛ばされないようにする。
  - ⑧ミツバチに比べマメコバチは低温でも活動するが、巣はできるだけ日当たりの良い所へ設置する。
  - ⑨花が咲く下草は、凍霜害予防を兼ね、除草しておく。
  - ⑩初めて始める方は、実施している方をお願いして新しいヨシ巣を置かせてもらう。
- ※ミツバチは昨年に引き続き今年も少ない状況です。  
※訪花昆虫保護の為に、殺虫剤は影響の少ない特定の剤のみ使用する。  
また散布時間は温かい昼間でなく、ハチの飛ばない早朝で行うなど、影響が出ないように注意する。

## ◆積雪が多い場合に融雪剤(炭の粉)の使用

園地に積雪があり作業遅れになりそうな場合は融雪剤(炭の粉)を使用する。

2~3日晴天が続くような日に早めに散布する。10aあたり1000位

1週間程度雪解けを早める効果がある。積雪のたびに撒くと雪が溶けやすくなる。

なお1回で倍量散布しても効果はそれほど変わらない(サンドイッチ状態にする)

雪解けに合わせて下枝が引っ張られ折れる場合がある。あらかじめ枝を掘り起こすかスコップを深く入れ雪に切れ目を作っておくと枝が折れにくくなる。

## ◆営農情報配信システムについて

現在、営農・販売・購買事業等のお知らせについて、部会情報以外の方式として有線放送を利用していますが、一部有線放送が無い地域もあります。そこでEメールにて情報配信を平成30年より実施しています。配信内容は台風・凍霜害・雪害などの自然災害の注意報や、農産物の収穫出荷等のお知らせなどが配信されます。新規での申し込み・登録内容変更の申し込みを受け付けます。

申込用紙 各流通センター・共選所・営農部にあります。

申込先 同上

申込期間 3月24日(金)まで 以降も受付しますが設定に時間がかかります。

※なお期日は未定ですがシステムそのものを変更する予定があります。

## ◆自動温度観測のデータを凍霜害対策に活用しましょう

アグリネットで管内の温度観測データを見ることが出来ます。

登録方法は前回の果樹総合情報参照。

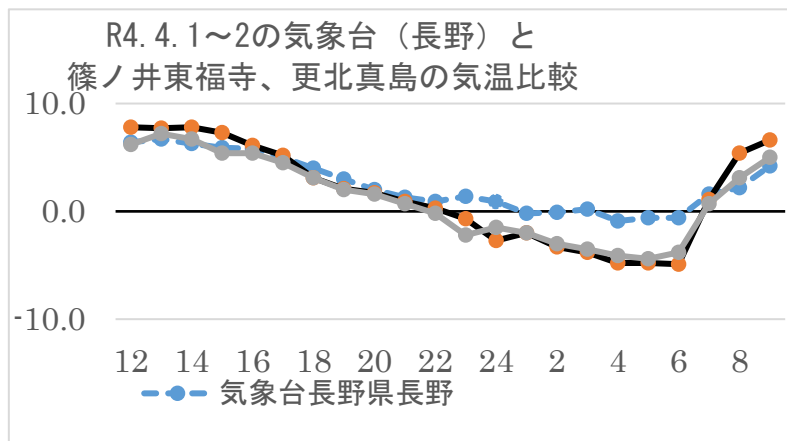
管内と長野気象台の昼間の温度は比較的同じ位の温度で推移している。

しかし凍霜害となる早朝の低温の時は気象台と比較して3度から4度位下がる日がある。

よって**気象台の予想温度より3度程度低くなるとみて対応**する。

※このグラフは観測データを元に作成しました

ので、アグリネットには掲載されていません。



## ◆農薬の登録変更(追加)について

①「ダニオーテフロアブル」(ダニ剤)

「もも」「ネクタリン」「ぶどう」で2000倍、収穫前日まで、年1回までの散布で2月14日に登録。銅剤との相性が悪いことから使用時期が限定されるので注意。

②「ペンコゼブ水和剤」(殺菌剤)

「オウトウ」で600倍、収穫21日、年2回までの散布で2月8日に登録

## ◆年特予約注文書の果実袋の価格修正について

果実袋の価格が正式に決定しましたのでお知らせします。果樹防除暦の33ページの価格修正

	果実袋名(略称)	通常価格	予約価格
4番	白ふじソフト	325	310
7番	NAスキ4切V	550	520
8番	もも二重袋P2P	670	635
9番	もも二重袋ピーチ22号	660	630
10番	もも二重袋P2Pソフト	590	555
12番	カイガラムシ防虫袋	400	385
16番	カケイ1号	420	395
17番	カケイ特大	520	495
18番	グレープ19号	490	460
19番	ぶどう1号	490	460
20番	グレープ18号	440	410
25番	シャイングリーン1号	560	530
26番	シャイングリーン特大	620	580
27番	デラ専用袋	240	230
28番	ポリ笠 乳白 220mm	870	830
29番	ポリ笠 乳白 300mm	1560	1490
30番	タイベック笠 270mm	1580	1510

《栽培に関する問合せ》 寺澤(篠ノ井):080-1188-5229/外谷(篠ノ井):080-8048-6602/福田(若穂)282-2002

佐藤(川中島):090-7179-9866/丸山(更北):080-1202-0260/根津(信更)080-1203-8576

松坂(全域・編集担当):080-1188-4131/営農部(本所):292-0930

松代地区は佐藤・丸山・外谷が対応します。

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所/生産販売部(本所):292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済課/農業資材課:299-3311